



紅茶アイドル(右の5人)を売り出すアイデアを提案する学生たち＝尾張旭市の名古屋産業大で

「おいしい紅茶の店」が日本一多い尾張旭市をPRする紅茶アイドル「for Tea a 8(フォー・ティ・エイト)」をどうやって売り出すかを、同市の名古屋産業大の学生が提案する「プロモート選手権」の決勝

が二十三日、同大で、紅茶アイドルは八月十七日、名古屋国際会議場であるコスプレイベントでデビューする。尾張旭カフエ学会副会長で同大教授の内山哲治さんが中心となつて募集し、現在は小

紅茶アイドル売り出せ 名産大生企画コンテスト

県には今月初旬に五羽のひなが巣の中にいた。しかし、台風が接近した十元ひ



メが来てくれるはず」と笑顔を見せた。

生までの九人がダンスなどを練習している。選手権では、マーケティングを受講していた。勝ち進んだ三チームが十三チームに分かれ、ネットを通じ

たい」と話した。グループは随時募集しており、毎週土曜午後二～四時に同大音楽室でオーディションを開いている。募集要項は名古屋経営短大のホームページで公開している。(水越直哉)



日、町役場であった。町長選では、既に出馬を表明している現職の川瀬雅喜氏(全)の二陣営と、候補者未定の四陣営の計六陣営が出席した。町議補選にも六陣営が出席した。

尾張旭で自転車スクール

元プロライダーだから二輪の特徴を知り尽くしている。また、元教員だから学校で教えられる交通教育の限界も知っている。自分を育ててくれた二輪の事故で、悲しい思いをする人を一人でも減らしたいと力を込める。東京都出身。小学校三年で自転車の魅力にはまり、六年のころには片道百キロの道のりも走るように。高校、大学ではサイクリングクラブを立ち上げ、全国を自転車で旅した。大学三年のころ、ラリー

交通教育コンサルタント 片山 昇さん(46)



自転車の安全な乗り方を広めるため活動している片山昇さん。尾張旭市の県森林公園で

元プロライダーだから二輪の特徴を知り尽くしている。また、元教員だから学校で教えられる交通教育の限界も知っている。自分を育ててくれた二輪の事故で、悲しい思いをする人を一人でも減らしたいと力を込める。東京都出身。小学校三年で自転車の魅力にはまり、六年のころには片道百キロの道のりも走るように。高校、大学ではサイクリングクラブを立ち上げ、全国を自転車で旅した。大学三年のころ、ラリーカーレースの最高峰、パリ・ダカを見て「自分も力を発揮して評価されたい」と思い立ち、オフロードバイクの耐久モトクロスに挑戦。卒業後はプロのライダーとして活躍

元プロ 事故防止願

し、一九九六年には日本一王座決定戦4ストローク優勝の経歴も。レースを続けながら、東京のバイク・自転車部品メーカーに勤務。尾張旭市のメーカーに移り、四年間勤めた後、教員の教育現場は授業や部活で忙しすぎて、交通安全教育を教える余裕は全くない。それなら自分が補完する役割を担おう」と決



意。昨春、教員を辞め、親子を対象にした自転車スクールを開いた。スクールでは幼児や歩行者、トラックなどがどう動くかを予測する「客観的な視野」を持つて走ることの大切さを強調する。「自転車盛んなベルギーなど欧州では、学校や会社に行つて自転車の乗り方を教える組織がある。そういう公的機関のようなものが日本にも必要だと思つてんです」。尾張旭市長坂町。(水越直哉)